

講義科目名称： 日本国憲法

授業コード：

英文科目名称： Japanese Constitutional Law

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1年	2単位 (2-0)	2024 (共通科目) / 2023以前 (大学共通科目：Global Studies) 選択科目
担当教員			
David Ulvog			
授業形態：講義	ナンバリング：GLS244		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	そもそも法律とは別に、なぜ憲法があるのでしょうか？本講義では、日本国憲法の基本原理の知識を得てそれを理解した上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することができる。そうした技能をもって、主権者である私達自身が、憲法の現在そして未来について考えられるようになる態度をもつことが目標である。		
授業の概要	まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容を具体的な事例を基に学びます。そして、基本的人権を保障するための国の仕組みや平和主義について理解を進める予定です。		
授業計画	第1回 ガイダンス、近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ 【事前学習】 最初講義の準備のため、日本国憲法を読んでください。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第2回 日本国憲法の基本原理（憲法とは誰を縛るルールか？） 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。 第3回 基本的人権（基本的人権の総論） 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第4回 人権享有主体・幸福追求権 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第5回 法の下の平等 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 ※遠隔授業の場合：講義資料をGoogle Classroomに掲載し、ZOOMを利用する。 第6回 精神的自由～内心の自由 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第7回 中間試験 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 ※学習に必要な時間：4時間 第8回 表現の自由 【事前学習】 テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】 講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。		

	第 9 回 ※学習に必要な時間：4時間 表現の自由の制限 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 第 10 回 ※学習に必要な時間：4時間 経済的自由（財産権保障の構造他） 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 第 11 回 ※学習に必要な時間：4時間 社会権（自由権とはどう違うのか？） 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 第 12 回 ※学習に必要な時間：4時間 統治総論 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 第 13 回 ※学習に必要な時間：4時間 国会および内閣 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 第 14 回 ※学習に必要な時間：4時間 裁判所 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 学習に必要な時間：2 時間 第 15 回 ※学習に必要な時間：4時間 平和主義、総まとめ 【事前学習】テキストの章を読んで、準備する。 【事後学習】講義内容を復習する。もっと深く知りたいことをメモしておいて、次の講義にて聞いてください。 学習に必要な時間：2 時間 第 16 回 ※学習に必要な時間：4時間 定期試験 定期試験 学習に必要な時間：4時間 ※学習に必要な時間：4時間
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『スタート憲法入門第3版補訂版』吉田仁美[編]（成文堂）
参考書	講義にて紹介
評価方法	中間・期末試験の結果、授業への参加度、授業態度などから総合的に評価する。 定期試験：80% 授業態度と受講者の発表：20% ※宿題の提出期限過ぎは受け付けしません。もし公欠が原因の場合、証明できる書類を提出してください。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【 】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【○】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。毎回授業のため、予習・復習してください。
オフィスアワー	(仮) 毎週**曜日 **限目 Ulvog研究室 ※メールおよびオンライン面談も行う。 面談の設定については、TEAMSのチャットで連絡ください。
課題に対するフィードバック方法	試験やクイズの後、講義にてフィードバックする。

講義科目名称： 体育一般

授業コード： 5219A

英文科目名称： General Physical Education

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2～3年	2単位(1-1)	大学共通科目：人間総合科学（選択科目）
担当教員			
安田 知子			
授業形態：講義・演習	ナンバリング：SSS275		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】体育・スポーツ、健康の理論と実際 【到達目標】 知識・理解の観点：「体 からだ」について、解剖学的知識（部位や働き）と運動学的知識（動き方）から考えることができるようになる。 技能の観点：解剖学的知識と運動学的知識をもとに自らトレーニングを考え実践できるようになる 安全管理として一次救命等を実施できるようになる 態度の観点：グループワークにおいて、それぞれの役割を踏まえて参加することができる		
授業の概要	アクティブラーニング及びPBLの手法を用い、講義（教室）と演習（体育館）を適宜交互に行うことにより、知識と技能を修得する。 1）学校保健安全法における学校検診やスポーツにおけるメディカルチェック等の理論を理解し、実際に体験することにより、体の運動器官の構造と機能を学ぶ。 2）体育やスポーツにおける安全管理のための応急手当や健康管理としての食について学ぶ 3）インクルーシブ教育、生涯教育としての体育・スポーツについて学ぶ		
授業計画	第1回 オリエンテーション：健康とは何か？（理論） 1）オリエンテーション これから学ぶ内容の概略についての説明 2）「健康」とは何か？ WHOの定義とスポーツ医学という考え方について 【事前学習】WHOの「健康」の定義について調べる（2時間） 【事後学習】自分自身の健康の意識について考え、レポートを提出する（2時間） 第2回 健康診断とは①（理論） 運動器検診/スポーツのためのメディカルチェックについて 【事前学習】 ①学校安全保健法における運動器検診について調べる（2時間） 【事後学習】 学校で行われる運動器検診とスポーツにおいて行われるメディカルチェックの違いについてレポートを提出する（2時間） 第3回 健康診断とは②（演習） 運動器検診/スポーツのためのメディカルチェックを実際に自分の体やクラスメイトの体で確認する 【事前学習】 前回の講義をもとに手順を考え、演習がスムーズに行えるように準備する（2時間） 【事後学習】 計測した結果をまとめてレポートを提出する。（2時間） 第4回 健康診断③（演習） ラジオ体操/ストレッチの実際を通して、健康習慣について学ぶ 【事前学習】 ラジオ体操の歴史について調べる（2時間） 【事後学習】 ラジオ体操の歴史的変遷についてレポートを提出する（2時間） 第5回 からだづくり① 食から考える体づくり 【事前学習】 自らの食生活について1週間記録し、考察する（2時間） 【事後学習】 コンビニエンスストアで購入できる朝ごはんについて組み立て、レポートを提出する（2時間） 第6回 からだづくり② 熱中症の予防と水分補給について 【事前学習】 熱中症について調べる（2時間） 【事後学習】 熱中症の対策についてレポートを提出する（2時間） 第7回 からだづくり③（演習） こどもに必要な体の動き、こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）を実施する 【事前学習】 こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）について調べる（2時間）		

第8回	【事後学習】 組み合わせた運動を考え、グループ発表の準備をする（2時間） からだづくり④（演習） こどもが学ぶべき「身につけておきたい36の基本動作」（山梨大学 中村和彦学長）について学び、組み合わせた運動を作る
第9回	【事前学習】 組み合わせた運動を考え、グループ発表の準備をする（2時間） 【事後学習】 グループで発表した「組み合わせて作成した運動」をレポートする（2時間） 応急手当①（理論） 応急手当について学ぶ
第10回	【事前学習】 身近なけがや病気、過去の体験についてまとめる（2時間） 【事後学習】 身近にあるAEDの設置場所、胸骨圧迫のリズムに合う歌、便利なスマホアプリを調べて、レポートする（2時間） 応急手当②（演習） 応急手当の一次救命処置について、消防庁の応急手当webに沿って学習する
第11回	【事前学習】 消防庁の応急手当webを視聴し、準備する（2時間） 【事後学習】 応急手当webの修了テストを実施し、修了証を提出する（2時間） パラスポーツ①（理論） パリパラリンピックを前に、オリンピックとの種目の違いについて学ぶ
第12回	【事前学習】 東京パラリンピックの競技種目について調べる（2時間） 【事後学習】 自分が興味を持った種目について調べ、レポートを提出する（2時間） 生涯スポーツとロコモティブシンドローム①（理論） 生涯スポーツについて ロコモティブシンドローム/こどもロコモについて
第13回	【事前学習】 ロコモティブシンドロームについて調べる（2時間） 【事後学習】 生涯スポーツについて、インターネットを用いて検索し、レポートする（2時間） 生涯スポーツとロコモティブシンドローム②（演習） ロコモティブシンドロームのチェックを行う 生涯スポーツの実践として、風船バレー、くつしたま入れ等を体験する
第14回	【事前学習】 「ロコトレ」について調べる（2時間） 【事後学習】 グループにて新しいスポーツを考える（2時間） パラスポーツ②（演習） パラスポーツとしてシッティングバレー、ボッチャを体験する
第15回	【事前学習】 シッティングバレー、ボッチャについて調べる（2時間） 【事後学習】 そのほかのパラスポーツについて、簡易な実施方法について検討する（2時間） 生涯スポーツとロコモティブシンドローム③ グループで新たな生涯スポーツを考え、実施する
第16回	【事前学習】 グループにて新しいスポーツを考え、プレゼンテーションの準備をする（2時間） 【事後学習】 実施したスポーツについてまとめ、レポートする（2時間） 総括（テスト） 講義のまとめとして、提出したレポートの振り返りと試験を行う。
授業における具体的な特色や方法	【事前学習】 テスト対策（3時間） 【事後学習】 授業全体の振り返り（1時間） 1) アクティブ・ラーニングを促す取組 2) 情報リテラシーに関する科目 3) ICTの活用 4) 初年次教育 5) 実践的PBL 【○】 グループワーク 【○】 オンラインによる情報収集、プレゼンテーション 【○】 Teamsによる資料の配布とレポートの提出 【○】 インクルーシブ教育を踏まえたプログラム作成
テキスト	なし
参考書	関朋昭編「体育・スポーツ・健康概論」ナカニシ出版 2023年
評価方法	毎回の授業時に課すレポート（50%）と最終時に実施する試験（50%）で行います。また、それぞれの60%以上の点数の取得を条件とします。

評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：試験欠席・レポート未提出・出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【○】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	1) 事前学習と事後学習を行い、準備をして講義に参加すること。 2) 体育館で運動を行う場合は、運動に適した服装で参加すること。体育館シューズを用意してください。
オフィスアワー	1) 授業前後 2) クラスで利用するTeamsのチャット機能、または y-tomoko○ocjc.ac.jp (○→@) にて随時
課題に対するフィードバック方法	授業内で実施します

講義科目名称： 中国語Ⅰ

授業コード： 4054A 4054B 4054C

英文科目名称： ChineseⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	共通科目 英コミ（選択科目）／観光（選択必修）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA110		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級中国語の習得。 【到達目標】 中国語の発音と声調コントロールの基礎を修得する。また、基本的な文法事項を理解（36個の文型）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と会話ができるレベルを目標とする。		
授業の概要	中国語のピン音（発音記号）の概要を説明するとともに、個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習を行う。それに引き続き、基本的な文法事項を学習し、その応用として、対話練習、作文練習を行う。		
授業計画	第1回 授業概要の説明、第1課：中国語の発音（1） 授業の進め方、評価の基準についての説明。 中国語の発音と声調についての概説。 第2回 【事前学習】 中国と中国語について調べてみる。（60分） 【事後学習】 第1課のCDを聞きながら、発音練習を多く行う。（180分） 第1課：中国語の発音（2）、中国語の声調（1） 発音が難しい中国語の母音・子音の発音練習。 注意を要する母音、有気音と無気音の発音の仕方、巻舌音の発音の仕方等。 中国語の声調コントロールの練習。 第3回 【事前学習】 第1課のCDを聞きながら発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。（60分） 【事後学習】 第1課のCDを聞きながら、発音・声調コントロールの練習を多く行う。（180分） 第2課：中国語の声調（2） 中国語の声調コントロールの練習。基数1～100。“ル化”音。授業用語。 第4回 【事前学習】 第2課のCDを聞きながら発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。（60分） 【事後学習】 第2課のCDを聞きながら、発音・声調コントロールの練習を多く行う。（180分） 第3課文法：人称代名詞、判断文、連体修飾語 私は～と呼びます。（誰々は）～です。（誰々の）お父さん・お母さん・お姐さんは…～です。 第5回 【事前学習】 第3課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】 第3課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） 第3課本文：「私は明理と呼びます」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 第6回 【事前学習】 第3課のを本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】 第3課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） 第4課文法：指示代名詞、動詞述語文、省略疑問文 これ・あれは何ですか？これ・あれは～です。ここは・あそこは～です。 動詞熟語文：〔誰々は〕～します。〔誰々は〕～しません。 省略疑問文：〔誰々〕は？〔何々〕は？ 第7回 【事前学習】 第4課のの文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】 第4課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） 第4課本文：「“白無垢”を着る」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 第8回 【事前学習】 第4課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】 第4課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） 第5課文法：連動文、介詞、能願動詞“要” 連動文を使ったいろいろな表現：手段、目的等。		

	介詞“到”を使った表現：「どこどこへは」どう行けば良いですか？「どこどこまで」何分かかりますか？ 能願動詞“要”を使った表現：～しなければならない。（所要時間）かかる。能願動詞“要”の否定形。 【事前学習】第5課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第5課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） 第9回 第5課本文：「タクシーひろって行きましょうよ」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第5課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第5課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） 第10回 第6課文法：存在・所在を表す“有”、能願動詞“想”、動詞の重ね型 “有”を使った表現：「何々が」ある・ない。「誰々が」いる・いない。 “想”を使った表現：～したい。～したくない。 中間試験 【事前学習】第6課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第1～5課の文法と意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を行う。（180分） 第11回 中間試験解説、第6課本文：「何でもあります」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第6課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第6課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） 第12回 第7課文法：完了の動態助詞“了”、形容詞述語文、予定を表す“打算” 完了の動態助詞“了”を使った表現：～しましたか？ 色々な形容詞述語文：とても大きい、元気です。 【事前学習】第7課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第7課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習を行う。簡体字の書き取り練習もしっかり行う。（180分） 第13回 第7課本文：「とても気持ちが悪いです」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第7課の課本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第7課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） 第14回 第8課文法：所在を表す“在”、介詞“離”、能願動詞“可以” “在”を使った表現の肯定形と否定形：【特定の物は】「どこどこに」あります・ありません。 【特定の人は】「どこどこに」います・いません。 “可以”を使った表現の肯定形と否定形：～できる・できない。 【事前学習】第8課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡体字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第8課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） 第15回 第8課本文：「自転車に乗れない」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第8課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第8課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） 第16回 期末試験 【事前学習】第1～8課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習する。（60分） 【事後学習】第1～8課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習するとともに、朗読練習をしっかりと行う。（60分）
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『実用シーンで学ぶ 入門中国語』宮本大輔・温琳 共著、朝日出版 定価2,200円
参考書	中日辞典など。

評価方法	中間試験・期末試験70%。授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【 】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇔教師、学生⇔学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。 ※遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 月曜日5限&水曜日5限 武村研究室。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）。 ※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）。
課題に対するフィードバック方法	授業中逐次フィードバックします。

講義科目名称： 中国語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： ChineseⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	共通科目 英コミ（選択科目）／観光（選択必修）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA111		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級中国語の習得。 【到達目標】 中国語の発音（声調コントロールを含む）の正確な発声方法を習得する。基本的な文法事項を理解（56個の文型を習得）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と平易な日常会話ができるレベルを目標とする。		
授業の概要	個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習も継続しつつ、十分な時間をかけ各課を学習する。各課の学習においては、基本的な文法事項の学習に続き、その応用として、簡単な日常会話の練習と作文練習を行う。 予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。 復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。多く音読練習をすること。		
授業計画	第1回	授業概要の説明、中国語Ⅰの復習 授業の進め方、評価の基準についての説明。 中国語Ⅰの復習。 【事前学習】中国語Ⅰで習った部分を復習する。（60分） 【事後学習】中国語Ⅰで習った部分をじっくり復習する。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第2回	第9課文法：変化を表す動態助詞“了”、程度補語、離合詞 変化を表す動態助詞“了”と完了を表す動態助詞“了”との違い。変化を表す動態助詞“了”のを用いた表現。 日常頻繁に使われる程度補語を用いた表現。 【事前学習】第9課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第1～8課の文法、意味を再確認し、簡体字の書き取り練習と音読練習を多く行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第3回	第9課本文：「眠くて死にそうだ」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第9課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第9課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第4回	第10課文法：介詞“在”、假定表現“如果…就”、単純方向補語 介詞“在”を用いた表現の肯定形・否定形：「どこどこで」～する・しない。 假定表現“如果…就”を用いた表現。単純方向補語の使われ方。 【事前学習】第10課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやってみる。（60分） 【事後学習】第10課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第5回	第10課本文：「悲惨なことになる」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第10課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第10課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	

第 6 回	第11課文法：強調構文“是…的”、介詞“給”、介詞“和” 強調構文“是…的”を用いた表現（肯定形・否定形） 介詞“給”を用いた表現：「誰々に」～してあげる。介詞“和”を用いた表現：「（人）は」 「誰々と一緒に」～する。 【事前学習】第11課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。（60分） 【事後学習】第11課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 7 回	第11課本文：「私がつくったんです」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第11課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第11課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 8 回	第12課文法：連動文、介詞、能願動詞“要” 連動文を使ったいろいろな表現：手段、目的等。 介詞“到”を使った表現：「どこどこへは」どう行けば良いですか？「どこどこまで」何分かかりますか？ 能願動詞“要”を使った表現：～しなければならない。（所要時間）かかる。能願動詞“要”の否定形。 【事前学習】第12課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。（60分） 【事後学習】第12課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 9 回	第12課本文：「私は車の運転が上手です」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第12課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第12課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 1 0 回	第13課文法：可能補語、二重目的語文、比較表現“跟…一樣” 可能表現の肯定形・否定形：～得了・～不了。二重目的語文の構造と使われ方。“跟…一樣”を用いた表現の肯定形・否定形。 中間試験 【事前学習】第13課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。（60分） 【事後学習】第13課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 1 1 回	中間試験解説、第13課本文：「私は起きられません」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、作文練習、対話練習。 【事前学習】第13課の本文を読んで、意味を考えてみる。（60分） 【事後学習】第13課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 1 2 回	第14課文法：動態助詞“過”、受身文、“請”を用いた謙語文 動態助詞“過”を用いた経験表現：～したことがある・ない。受身表現の構造と使われ方。 “請”を用いた謙語文の構造と使われ方。 【事前学習】第14課の文法事項をしっかりと理解し、CDを聞きながら例文の発音練習を多く行い、簡単字の書き取り練習も行う。練習をやる。（60分） 【事後学習】第14課の文法と例文の意味を復習し、CDを聞きながら朗読練習を行う。簡体字の書き取り練習もしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
第 1 3 回	第14課本文：「あなたにそばをご馳走します」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、

	作文練習、対話練習。 【事前学習】第14の課本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第14課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分) ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第14回 第15課文法：使役表現、存現文、“有”を用いた謙語文 “叫”を用いた使役表現（肯定形・否定形），“讓”を用いた使役表現（肯定形・否定形） 動態助詞“着”“了”を用いた状態を表す存現文。“有”を用いた謙語文の構造と使われ方。 【事前学習】第15課の文法事項をしっかりと理解し、CDを開きながら例文の発音練習を多く行い、 単語の書き取り練習も行う。練習をやる。(60分) 【事後学習】第15課の文法と例文の意味を復習し、CDを開きながら朗読練習と簡体字の書き取り練習をしっかりと行う。(180分) ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第15回 第15課本文：「私に見学させて」 本文の文法解析、音読練習、シャドーイング、再現練習。本文中の句型を使った入れ替え練習、 作文練習、対話練習。 【事前学習】第15課の本文を読んで、意味を考えてみる。(60分) 【事後学習】第15課の文法と本文の意味を復習し、簡体字の書き取り練習と音読練習をしっかりと行う。(180分) ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第16回 期末試験 【事前学習】第9～16課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】第9～16課の文法事項をしっかりと理解し、例文と本文をしっかりと復習するとともに、 朗読練習をしっかりと行う。(60分) ※遠隔試験の場合：試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔試験の場合：Microsoft Teamsにて遠隔試験を実施する。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【 】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『実用シーンで学ぶ 入門中国語』 宮本大輔・温琳 共著、朝日出版 定価2,200円
参考書	中日辞典など。
評価方法	中間試験・期末試験70%、授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) —：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇄教師、学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。 ※遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 月曜日4限&水曜日4限。 武村研究室。希望者は、事前にメールを (t.takemura@ocjc.ac.jp)。 ※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。希望者は、事前にメールを (t.takemura@ocjc.ac.jp)。
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

講義科目名称： 韓国語Ⅰ

授業コード： 4056A 4056B 4056C

英文科目名称： KoreanⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	共通科目 英コミ（選択科目）／観光（選択必修）
担当教員			
趙 恩智			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA114		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	テーマ：初級韓国語の習得 到達目標：ハングルの基礎を学び、文字をきれいに発音することを目標とする。基礎レベルに合わせた簡単な会話と読み、書きを身に付く。		
授業の概要	この授業科目では、韓国語初歩者のためにハングルの読みや書きなどの基礎を身につけ、簡単な会話ができるようにする。なお、韓国語の音声に慣れるまで発音練習を中心に考察する。方法としては、コンテンツなどを使って講義を進める。コンテンツはドラマや芸能、音楽など韓国の資料を活用して基礎レベルに合わせる。以上の事柄を通して、韓国語の基礎になるハングルから、必要最低限の基礎力の修得し、簡単な会話と読み書きを修得し身に付くことができる。		
授業計画	第1回 コースガイダンス、ハングルについて ハングルの仕組みと文字の歴史について学ぶ。 【事前学習】ハングルの調べてみる。（1時間） 【事後学習】ハングルの仕組みを復習した上、母音について調べておく。（2時間） 第2回 ハングルの母音について ハングルの母音である文字と音声を説明する。基礎母音と合成母音まで練習する。 【事前学習】2回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】母音の復習とハングルの子音について調べておく。（2時間） 第3回 ハングルの子音について ハングルの子音である文字と音声を説明する。ハングル表を見ながら練習する。 【事前学習】3回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】ハングル表にある音声を練習する。（2時間） 第4回 ハングルのパッチムについて ハングル表の復習とともに、パッチムを入れたハングル文字を練習する。 【事前学習】4回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】練習問題にある文字の読みを練習する。（2時間） 第5回 ハングル読みの練習 ハングルの連音化など、読みを正しく理解し、練習する。 【事前学習】ハングル表と練習問題の復習と5回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】練習問題を説いておく。（2時間） 第6回 自己紹介と挨拶 自己紹介の表現とフRezについて学ぶ。 語彙：名前、職業、国籍 文法：～は、～です、～ですか？、～は～といます。 【事前学習】6回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】自己紹介のフRezと語彙を復習する。（2時間） 第7回 ある・ないの表現 ありますか？ないですか？の表現を通じて文章を身に付く。 語彙：時間、物 文法：～があります・います、～がありません・いません、～に、～と 【事前学習】7回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】語彙と文法を活用して作文を試みる。（2時間） 第8回 場所を示す表現 「こ・そ・あ・ど」の表現を通じて疑問形に答えるパターンを学ぶ。 語彙：物、場所 文法：～です、だれのものですか？、～はどこですか？、～は何ですか？ 【事前学習】8回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】語彙と文法を活用して作文を試みる。（2時間） 第9回 場所を示す表現(2) 「こ・そ・あ・ど」の表現を通じて疑問形に答えるパターンを学ぶ。 語彙：物、場所 文法：～です、だれのものですか？、～はどこですか？、～は何ですか？ 【事前学習】9回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】語彙と文法を活用して作文を試みる。（2時間） 第10回 です・ますについて 動詞と形容詞の～です・ます形の作り方を学ぶ。現在進行形を韓国語で言えるようにする。 語彙：基本動詞、基本形容詞 文法：～します、～しましょう 【事前学習】10回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】～です・ます表を復習し、練習問題を説いておく。（2時間） 第11回 数字について 数字の読み方を学び、時間を言えるようにする。さらに、カレンダーから練習する。 語彙：数字、曜日 文法：何時ですか？、何番ですか？、何年生ですか？、何曜日ですか？ 【事前学習】11回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】時間とカレンダーを韓国語で言えるように練習する。（2時間） 第12回 日程について 数字とカレンダーを覚えて、約束をとる際の表現と、一日の日程を言えるようにする。		

	語彙：曜日、基本動詞、基本形容詞 文法：～から～まで、～ではありません。 【事前学習】12回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】数字のつかえ方と表現を通じて作文してみる。（2時間） 第13回 家族表現 家族の名称について学ぶ。自分の家族について説明してみる。 語彙：家族、人数、尊敬語 文法：何名ですか？、そして、いるし 【事前学習】自分の家族を韓国語でどう呼ぶか調べておく。（2時間） 【事後学習】自己紹介とつなげて家族紹介もできるようにセリフを練習する。（2時間） 第14回 「—ください」と「—したい」について 韓国に旅行する際によく使える表現を学ぶ。数字を覚えてお店で注文することを学ぶ。 語彙：家族、人数、尊敬語 文法：何名ですか？、そして、いるし 【事前学習】14回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】注文する場面のセルフを練習する。（2時間） 第15回 試験まとめ 2回～14回の授業を復習し、試験前の説明をする。 【事前学習】前回の内容をまとめて予習し、理解できない部分をチェックする。（2時間） 【事後学習】試験範囲を再確認し、試験準備をしっかりとる。（2時間） 第16回 期末試験 学習の成果を試す。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組【プレゼンテーションを使い授業を行う。コンテンツ資料を積極的に活用する。】
テキスト	別途準備（PPT資料、添付資料など）
参考書	国立国語院『韓国語と韓国文化』2020年（韓国）
評価方法	出席率・授業態度（10%）、練習問題提出（10%）欠席者は次回の授業まで提出すること。期末試験（80%）
	*遠隔授業の場合：基本は学内での期末試験（筆記試験）にするが、状況によって変更する。 小テスト（60%）、課題提出（30%）、出席率・授業態度（10%）
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀（A）90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優（B）80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良（C）70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可（D）60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可（F）60点未満：到達目標を達成していない 欠（K）—：出席不足 *遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、詳細は講義内で説明。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	第二言語を学ぶことにより、他文化への理解度が深まりそれが「グローバル」社会の多様性と文化理解の「教養を育む」ことにもつながる。 【DP 1～4との関連】 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	レベル0（入門者）向けの授業になるため、授業のスピードとコンテンツ利用が多いです。 *遠隔授業の場合、Google class roomで提示する資料や課題を必ず確認すること。
オフィスアワー	未定 *遠隔授業の場合、メールおよびオンライン面談を行う。 面談の設定については、メールで連絡（個人メール：jej201307@gmail.com、Google class roomメッセージ）
課題に対するフィードバック方法	次回の授業に行う。

講義科目名称： 韓国語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： KoreanⅡ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	英コミ2年・ 観光1年	2単位(0-2)	共通科目 英コミ（選択科目）／観光（選択必修）
担当教員			
趙 恩智			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA115		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級韓国語の習得 【到達目標】 ハングルの基礎を学び、文字をきれいに発音することを目標とする。基礎レベルに合わせた簡単な会話と読み、書きを身に付く。		
授業の概要	韓国語Ⅰの取得者、もしくはそれと同等な語学力を持つ学生を対象にする。講義では、韓国語のコンテンツを分野別（音楽、映画、アニメ、ドラマ、番組）に分け授業を進める。シンから学ぶ韓国語で、スピーキングやヒアリングを身に付く。また、ロールプレイングを行い、実践することを目標とする。		
授業計画	第1回 コースガイダンス 韓国語Ⅱの準備段階として、韓国語Ⅰのまとめをする。 【事前学習】 韓国語Ⅰ取得者は前期の学習をしておく。（1時間） 【事後学習】 韓国語Ⅰのまとめを復習する。（2時間） 第2回 ドラマで学ぶ韓国語（1） 過去形の文系をドラマのシンから学ぶ。応用文を身に付く。 文法：～た。～して（から）～しました。 【事前学習】 2回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】 応用文を練習する。（2時間） 第3回 ドラマで学ぶ韓国語（2） 予定の文系をドラマのシンから学ぶ。応用文を身に付く。 文法：～つもりです、～でしょう、～なんですよ、～しています 【事前学習】 3回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】 応用文を練習する。（2時間） 第4回 映画で学ぶ韓国語（1） 映画のシンから季節の天気表現を学ぶ。 文法：～ですね、～より 【事前学習】 4回目の資料を予習しておく。（2時間） 【事後学習】 ～よりを使った季節表現を作文してみる。（2時間） 第5回 映画で学ぶ韓国語（2） 病院で使う表現を学ぶ。身体の名を身に付く。 【事前学習】 5回目の語彙を読んでおく。（2時間） 【事後学習】 ドラマと映画から一つ選んで、チームでロールプレイングを準備する。（2時間） 第6回 ロールプレイング ドラマと映画のシンから学んだ応用文などを使い、チームごとに発表する。 【事前学習】 チームごとにシンを準備すること。（2時間） 【事後学習】 発音矯正を中心に台本を復習する。（2時間） 第7回 漫画・アニメで学ぶ韓国語（1） 気分と感情に関連する語彙を学ぶ。ウェブコミックについて見ていく。 【事前学習】 7回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】 自己紹介のプレゼンと語彙を復習する。（2時間） 第8回 アニメで学ぶ韓国語（2） 韓国語の吹き替え版を通じて日常会話を学ぶ。 文法：勧誘、敬語、未来形 【事前学習】 8回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】 応用文を中心に練習する。（2時間） 第9回 番組で学ぶ韓国語（1） 尊敬語の仕方を学ぶ。談話（トークショー）を見ながらインタビュー練習。 【事前学習】 9回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】 動詞を尊敬語に使えるように練習する。（2時間） 第10回 番組で学ぶ韓国語（2） バラエティ番組で韓国のゲームを学習し、現代用語を学ぶ。 【事前学習】 10回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】 語彙と文法を活用して作文をしてみる。（2時間） 第11回 番組で学ぶ韓国語（3） ニュースや教養番組で現代の韓国について学習する。ニュース用語を身に付く。 【事前学習】 11回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】 ニュース用語を学び、韓国のポータルサイト検索してみる。（2時間） 第12回 音楽で学ぶ韓国語（1） 音楽の歌詞で学ぶ韓国語。ヒアリングとスピーキングを同時に練習する。 【事前学習】 12回目の資料と音楽を事前に聞いてみる。（2時間） 【事後学習】 音楽を聴きながら練習問題を説いてみる。（2時間） 第13回 音楽で学ぶ韓国語（2）		

	音楽の歌詞で学ぶ韓国語。ヒアリングとスピーキングを同時に練習する。 【事前学習】13回目の資料と音楽を事前に聞いてみる。（2時間） 【事後学習】好きなミュージションの歌詞を韓国語で聞いてみる。（2時間） 第14回 Youtube チャンネル モックバンなど韓国で人気あるチャンネルから日常会話を身に付く。 【事前学習】14回目の資料を読んでおく。（2時間） 【事後学習】今までの授業で出た文系をまとめてみる。（2時間） 第15回 試験まとめ 2回～14回の授業を復習し、試験前の説明をする。 【事前学習】前回の内容をまとめて予習し、理解できない部分をチェックする。（2時間） 【事後学習】試験範囲を再確認し、試験準備をしっかりとる。（2時間） 第16回 期末試験 学習の成果を試す。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【○】 3) ICTの活用 【○】 4) 初年次教育 【○】 5) 実践的PBL 【○】
テキスト	別途配布
参考書	アプリ：「NAVER Korean Dictionary」 「Melon」「Netflix」など
評価方法	授業態度や授業への参加度（50%）、期末試験（50%） ※遠隔授業の場合：リモート授業を実施、小課題（クイズ）提出。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀（A）90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優（B）80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良（C）70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可（D）60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可（F）60点未満：到達目標を達成していない 欠（K）－：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ルーブリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 1との関連性について、同系列の他言語であるハングルを学ぶことによって「自己と他者を尊重し」、日・韓・朝鮮の間で積極的に「相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができる」 3については「言語的な批判的精神」を養って「グローバル化する社会の課題に向き合える」 4については、英語圏以外の国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること 【○】1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【○】2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【○】4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	スピーキングを中心にする授業です。 *リモート授業になる場合は、Gooleclass roomで行う。
オフィスアワー	火 14:40～16:10 メール, Gooleclassroom chart等に対応できる。(jej201307@gmail.com)
課題に対するフィードバック方法	次回の授業に行う。

講義科目名称： スペイン語Ⅰ

授業コード： 4058A

英文科目名称： SpanishⅠ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	2年	2単位(0-2)	共通科目 (選択科目)
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA118		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級スペイン語の文法事項を理解し平易な文を読むことができるようになる。 【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しみ、基本的な文法を理解する。それによって、平易な会話を習得し、実際に使えるようになる。		
授業の概要	スペイン語の文字・発音についての概要を説明するとともに、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて着実に平易な会話ができる基盤を構築してゆく。また、挨拶、数の数え方、日時、曜日の言い方等、日常会話で頻出する平易な表現を練習する。 予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること、語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと		
授業計画	第1回	授業の進め方、評価の基準等についての説明。スペイン語を公用語とする国々についての紹介。 Leccion 1：スペイン語の発音と表記法（1）。 スペイン語の母音、子音の音声学的特徴、表記法、アクセントの3つの規則。	
	第2回	【事前学習】スペイン語を公用語とする国々について調べる。（60分） 【事後学習】CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） Leccion 1：スペイン語の発音と表記法（2） 注意を要する発音（子音&母音）について、練習を交えながら、具体的な発音方法を説明。簡単な挨拶の練習。基数1～10。Conversacion 1の解説と朗読練習。Practica 1の解説と朗読練習。	
	第3回	【事前学習】Leccion 1の説明をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。（180分） Leccion 2：名詞の性と数、定冠詞、不定冠詞（1） 男性名詞と女性名詞、それら名詞の単数形と複数形。不定冠詞と定冠詞。	
	第4回	【事前学習】Leccion 2の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1～2の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。（180分） Leccion 2：名詞の性と数、定冠詞、不定冠詞（2） 定冠詞と不定冠詞、それら冠詞の単数形と複数形の名詞へのつき方。 Conversacion 2の解説と朗読練習。Practica 2の解説と朗読練習。基数11～20。	
	第5回	【事前学習】Leccion 2の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】Leccion 1～2の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分） Leccion 3：主語人称代名詞。ser動詞の活用（1） 10種の主格人称代名詞（1人称・2人称・3人称の単数形と複数形）。 ser動詞の直説法現在の活用。形容詞の性と数と、それら形容詞の名詞へのつき方。	
	第6回	【事前学習】Leccion 3の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1～3の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分） Leccion 3：主語人称代名詞。ser動詞の活用（2） 主格人称代名詞の用法。ser動詞の用法。国籍を表す語。感嘆文。 Conversacion 3の解説と朗読練習。Practica 3の解説と朗読練習。	
	第7回	【事前学習】Leccion 3の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】Leccion 1～3の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分） Leccion 4：estar動詞の活用。疑問文と否定文（1） estar動詞の活用と用法。estar動詞とser, hay動詞との違い。	
	第8回	【事前学習】Leccion 4の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1～4の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。（180分） 第4課：Leccion 4：estar動詞の活用。疑問文と否定文（2） estar動詞の用法。Conversacion 4の解説と朗読練習。Practica 4の解説と朗読練習。基数21～100。	
		【事前学習】Leccion 4の文法事項を理解し本文に目を通しておく。（60分） 【事後学習】Leccion 1～4の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。	

第9回	う。語句の書き取り練習も行う。(180分) Leccion 5: 規則活用動詞 (-ar動詞、-er動詞、-ir動詞) の活用 (1) 規則活用動詞 (-ar動詞、-er動詞、-ir動詞) の活用練習。疑問詞を用いたいろいろな疑問文。付加疑問文。 【事前学習】 Leccion 5の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～5の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
第10回	Leccion 5: 規則活用動詞 (-ar動詞、-er動詞、-ir動詞) の活用 (2)、中間試験 指示形容詞と指示名詞の違いと用法。 Conversacion 5の解説と朗読練習。Practica 5の解説と朗読練習。 中間テスト。 【事前学習】 Leccion 5の文法事項を理解し本文に目を通しておく。第1～5課の復習をしっかりと行う。(60分以上) 【事後学習】 Leccion 1～5の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
第11回	中間試験解説、Leccion 6: 一般不規則活用動詞 (1) 1人称単数のみが不規則活用する不規則活用動詞 hacer, ver, dar, saberの活用。 所有形容詞の前置形と後置形。 【事前学習】 Leccion 6の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～6の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習、語句の書き取り練習を行う。中間テストの復習。(180分)
第12回	Leccion 6: 一般不規則活用動詞 (2) 直接目的語につける前置詞 a。前置詞 a, en, de, para, desde, hasta の用法。 Conversacion 6の解説と朗読練習。Practica 6の解説と朗読練習。 【事前学習】 Leccion 6の文法事項を理解し本文に目を通しておく。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～6の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
第13回	Leccion 7: 語幹母音変化動詞 querer, poderの活用と用法。直接目的格及び間接目的格人称代名詞 (14種)。 【事前学習】 Leccion 7の文法事項をじっくり読んで理解する。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～6の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
第14回	Leccion 7: その他の不規則活用動詞 不規則活用動詞 tener, venir, decir, oír, ir の活用と用法。時刻表現と用法。 Conversacion 7の解説と朗読練習。Practica 7の解説と朗読練習。 【事前学習】 Leccion 7の文法事項に目を通しておく。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～7の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
第15回	総復習 スペイン語の発音・表記法、第1課～第7課の復習。練習問題等。 【事前学習】 Leccion 1～7の復習をしっかりと行う。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～7の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
第16回	期末試験 【事前学習】 Leccion 1～7の復習をしっかりと行う。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～7の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら発音練習をしっかりと行う。語句の書き取り練習も行う。(180分)
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『A partir de hoy —Nueva edicion—』安藤新次郎、安田圭史、吉野達也 著、朝日出版社 定価2,530円
参考書	西和辞典など。
評価方法	中間試験・期末試験70%、授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。 ※遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 後日設定する。武村研究室。希望者は、事前にメールを（t. takemura@ocjc.ac.jp）。
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックいたします。

講義科目名称： スペイン語Ⅱ

授業コード：

英文科目名称： Spanish Ⅱ

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	2年	2単位(0-2)	共通科目（選択科目）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：SLA119		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 初級スペイン語の習得。 【到達目標】 スペイン語の発音、リズムに慣れ親しむ。また、基本的な文法を理解・習得し、平易な会話を多く習得する。それらを実際使って見て、その感覚を蓄積する。		
授業の概要	スペイン語Ⅰの復習を行いつつ、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて平易な会話ができる基盤を強固なものにしてゆく。その上で、平易な日常会話ができるよう練習を行う。 予習：文法事項を事前に目を通しておくこと。 復習：授業内容が理解できているか確認すること、語彙（スペル）の書き取り練習を行うこと。多く音読練習を積むこと。		
授業計画	第1回	授業概要の説明。授業の進め方、評価の基準についての説明 授業の進め方、評価の基準についての説明。スペイン語Ⅰの復習。 【事前学習】スペイン語Ⅰの復習。（60分） 【事後学習】CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第2回	Leccion 8：直接目的格人称代名詞 8種の直接目的格人称代名詞とそれら人称代名詞の用法。動詞gustar, encantarの活用と用法。 【事前学習】Leccion 8の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1～8の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第3回	Leccion 8：間接目的格人称代名詞 10種の間接目的格人称代名詞とそれら人称代名詞の用法。 前置詞格人称代名詞。動詞doler, interesar, parecerの活用と用法。 Conversacion 8の解説と朗読練習。Practica 8の解説と朗読練習。 【事前学習】Leccion 8の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分） 【事後学習】Leccion 1～8の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第4回	Leccion 9：再起動詞と再起代名詞（1） 再起動詞の活用と再起代名詞。再起動詞・再起代名詞の用法。 【事前学習】Leccion 9の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1～9の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第5回	Leccion 9：再起動詞と再起代名詞（2） 再起動詞の活用と再起代名詞。再起動詞・再起代名詞の用法。 季節・月名・曜日を表す語句。 Leccion 9 Conversacionの解説と朗読練習。Practica 9の解説と朗読練習。 【事前学習】Leccion 9の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分） 【事後学習】Leccion 1～9の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	
	第6回	Leccion 10：現在分詞と過去分詞（1） 現在分詞と過去分詞の作り方。現在進行形。現在分詞の副詞的機能。 【事前学習】Leccion 10の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分） 【事後学習】Leccion 1～10の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。	

第7回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 10：現在分詞と過去分詞（2）
現在完了形と用法。
Conversacion 10の解説と朗読練習。Practica 10の解説と朗読練習。

【事前学習】Leccion 10の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分）
【事後学習】Leccion 1～10の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第8回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 11：比較級（1）
優等比較、劣等比較、不規則な劣等比較

【事前学習】Leccion の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分）
【事後学習】Leccion 1～11の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第9回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 11：比較級（2）
同等比較、最上級。
Conversacion 11の解説と朗読練習。Practica 11の解説と朗読練習。

【事前学習】Leccion 11の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分）
【事後学習】Leccion 1～11の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第10回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 12：規則動詞の直説法点過去、中間試験
規則動詞の直説法点過去の活用形。動詞の点過去と一緒に使われる副詞表現。

【事前学習】Leccion 12の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分）
【事後学習】Leccion 1～12の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第11回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 12：中間試験の解説。不規則動詞の直説法点過去（1）
いろいろな不規則動詞の直説法点過去。副詞（-mente）の作り方。
Conversacion 12の解説と朗読練習。Practica 12の解説と朗読練習。

【事前学習】Leccion 12の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分）
【事後学習】Leccion 1～12の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。中間テストの復習。（180分）

第12回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 13：不規則動詞の直説法点過去（2）
（-e, -iste, -imos, -istes, -eronの）共通の語尾を有する不規則動詞の直説法線過去。

【事前学習】Leccion 13の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分）
【事後学習】Leccion 1～13の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第13回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 13：その他の不規則動詞の直説法点過去（3）
ser/ir, dar, verの直説法線過去。不定語・否定語。
Conversacion 13の解説と朗読練習。Practica 13の解説と朗読練習。

【事前学習】Leccion 13の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。（60分）
【事後学習】Leccion 1～13の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第14回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 14：線過去（1）
規則活用動詞 hablar, comer, vivirの線過去。

【事前学習】Leccion 14の文法事項をじっくり読んで理解する。（60分）
【事後学習】Leccion 1～14の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。（180分）

第15回

※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。
※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。
Leccion 14：線過去（2）、副詞
不規則活用動詞 ser, ir, verの線過去。点過去と線過去の違い。

	Conversacion 14の解説と朗読練習。Practica 14の解説と朗読練習。 【事前学習】 Leccion 14の文法事項を理解しLeccionに目を通しておく。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～14の文法・文の意味を理解し、CDを聞きながら、語句の書き取り練習と発音練習をしっかりと行う。(180分) ※遠隔試験の場合：試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔試験の場合：Microsoft Teamsにて遠隔試験を実施する。 第16回 期末試験。 【事前学習】 Leccion 1～14をしっかりと復習する。(60分) 【事後学習】 Leccion 1～14をしっかりと復習する。(180分) ※遠隔授業の場合：期末試験についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて期末試験を実施する。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【 】 2) 情報リテラシーに関する科目 【 】 3) ICTの活用 【 】 4) 初年次教育 【 】 5) 実践的PBL 【 】
テキスト	『A partir de hoy —Nueva edicion—』安藤新次郎、安田圭史、吉野達也 著、朝日出版社 定価2,530円
参考書	西和辞典など
評価方法	中間試験・期末試験70%、授業参加度・発表30%。 ※遠隔授業の場合：中間・期末試験に替えて、レポートの提出を課す。
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足 ※遠隔授業の場合、評価方法の変更により、ルーブリックにも変更がある。詳細は講義内で説明する。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【DP 1～4との関連】 【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること 【 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	相互（学生⇄教師、学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。6回以上欠席で「不可」とする。 ※遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で授業についての説明を必ず確認すること。ZOOMによる遠隔授業の場合は、必要なPC、タブレット等の端末を準備すること。
オフィスアワー	分からないことは、オフィスアワーを活用し、積極的に聞きに来て下さい。 月曜日4限&水曜日4限。武村研究室。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp） ※遠隔授業実施期間中は、Microsoft Teamsにて実施。希望者は、事前にメールを（t.takemura@ocjc.ac.jp）
課題に対するフィードバック方法	授業中、逐次フィードバックします。

講義科目名称： コンピュータ演習

授業コード： 5208A

英文科目名称： Basic Computing

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前・後期	2～4年	2単位(0-2)	大学共通科目：情報コミュニケーション（選択科目）
担当教員			
武村 朝吉			
授業形態：演習	ナンバリング：CMS170		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	【テーマ】 大学生活また社会人として仕事をする上で必要とされる、PCの基本的操作技能、並びに情報リテラシーの習得。 【到達目標】 ①認知的領域：大学生活または社会人として仕事をする上で必要とされるPCの基本的操作ができるようになる。PCの基本的な各種設定ができる。 ②技術表現的領域：ワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の加工・分析ができる。 ③情意的領域：パワーポイントの効果的な使い方を習得し、人前で自信をもってプレゼンできる態度を身につける。
授業の概要	PCの基本的な各種設定の方法を学ぶとともに、ワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の加工・分析の方法、パワーポイントの効果的な使い方等を、実践的に習得する。また、基礎的なデータベースの活用方法など情報リテラシーを身につける。
授業計画	第1回 オリエンテーション及びWord2016の基本操作（1） 授業の進め方、評価法についての説明。ローマ字入力。ブラインドタッチの練習。 【事前学習】ローマ字入力について理解し、入念に入力練習を行う。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第2回 Word2016の基本操作（2） ローマ字入力。ブラインドタッチの練習。 単純な文書の作成。 【事前学習】ブラインドタッチの練習を行う。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習を行う。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第3回 Word2016の基本操作（3） ブラインドタッチの練習。文書のレイアウト他、編集技法。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第4回 Word2016の基本操作（4） ブラインドタッチの練習。文書作成に有用な、図形を用いた簡単な模式図の描き方。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第5回 Word2016の上手な操作法（1） ブラインドタッチの練習。文書作成に有用な、数種の図形を用いた様々な模式図の描き方。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第6回 Word2016の上手な操作法（2） SmartArtの活用法。文書作成に有用な、画像、グラフの挿入。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第7回 Excel2016の基本操作（1） 文書作成に有用な単純な表の作成。セルの結合、文字列の配列等。 【事前学習】授業予定の部分に目を通し、練習してみる。（60分） 【事後学習】ブラインドタッチの練習。課題の作成。（180分） ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第8回 Excel2016の基本操作（2）

	文書作成に有用な複雑な表の作成。表のレイアウト、編集など。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) ※遠隔授業の場合：講義についての説明をMicrosoft Teamsに掲載する。 ※遠隔授業の場合：Microsoft Teamsにて遠隔授業を実施する。 第 9 回 Excel2016の基本操作 (3) 表計算。単純なグラフの作成。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) 第 1 0 回 Excel2016の上手な使い方 (1) 関数入力。Excel2016の便利な使い方。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) 第 1 1 回 Excel2016の上手な使い方 (2) 複雑なグラフの作成。相対参照、絶対参照。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) 第 1 2 回 Excel2016の上手な使い方 (3) 生データの加工。グラフ描画のための表作成。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) 第 1 3 回 PowerPointの基本操作 (1) 簡単なプレゼンテーション資料の作成。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) 第 1 4 回 PowerPointの基本操作 (2) 表、グラフ、画像、動画の挿入方法等。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 ブラインドタッチの練習。課題の作成。(180分) 第 1 5 回 PowerPointの上手な使い方 PCを利用する上で必要な情報倫理について学ぶ。 【事前学習】 授業予定の部分に目を通し、練習してみる。(60分) 【事後学習】 授業でやった内容を、テキスト内の関連個所の説明に従って練習を繰り返す。 第 1 6 回 なし。
授業における具体的な特色や方法	1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【○】 2) 情報リテラシーに関する科目 【○】 3) ICTの活用 【○】 4) 初年次教育 【○】 5) 実践的PBL 【○】
テキスト	特になし。
参考書	『大学生のための レポート・卒論で困らない ワード／パワポ／エクセルのコツ』、『できるWord & Excel 2019』など。
評価方法	課題の提出70% 授業への参加度30%
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) — ：出席不足
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【D P 1～4との関連】 【○】 1. 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること

	【 】 2. 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること 【○】 3. 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること 【 】 4. 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること
履修上の注意	USBメモリーを準備すること。 諸連絡はMicrosoft Teamsで行いますので、必ず確認すること。
オフィスアワー	月曜日5限&水曜日5限。武村研究室。希望者は、事前にメールを（t. takemura@ocjc.ac.jp）。
課題に対するフィードバック方法	課題は評価後に希望に応じて返却します。